

作業療法士各位

北河内ブロック現職者共通研修『事例検討会』の案内

北河内ブロック 教育担当 田丸 佳希（四條畷学園大学）

本事例検討会は数多くの演題が寄せられました。また各演題内容におきましても作業療法士の視点が散りばめられた大変素晴らしい演題が揃っています。他施設での取り組みや作業療法介入を知ることができる大変貴重な機会です。4月からの新入職員さんの参加も含めて、是非多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

（担当：田丸・瀬筒）

日 時：平成 29 年 4 月 14 日（金） 19:00-21:15 （受付開始：18:30～）

会 場：四條畷学園大学リハビリテーション学舎 3階 講義室 5・6
〒574-0011 大阪府大東市北条 5 丁目 1 1 番 1 0 号 （駐車場有）



内 容：現職者共通研修：事例検討（旧：症例研究 2）・事例報告（旧：症例研究 3）

参加費：事例検討・事例報告を受ける方は、500 円の認定料が必要です。

生涯教育手帳を持参してください。

上記以外の参加者は無料です。なお、本研修は障害教育 2 ポイントの対象です。

その他：当日は教育部による他研修会参加ポイントの処理も可能です。

A 会場（講義室 5） 19:00-21:15

第1セッション 座長：星ヶ丘医療センター 下西 徳

- ① 呼吸機能低下を認めたが、トイレ動作獲得により自宅退院が可能となった症例
関西医科大学附属病院 笹山 彩菜
- ② 左片麻痺・注意機能障害を呈した症例に対するトイレ動作のアプローチ
牧リハビリテーション病院 秀 謙吾
- ③ COPM を用いた介入により、自宅生活への自信を取り戻した一症例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 橋本 裕樹
- ④ 小児の上腕骨遠位部骨折にしたいする2種類の装具を使用し肘関節のROM改善が得られた症例
啜生会脳神経外科病院 藤田 悠

第2セッション 座長：松下記念病院 熊野 宏治

- ⑤ 下衣操作時のバランス機能に着目した一症例
星ヶ丘医療センター 浦田 裕子
- ⑥ 意欲低下を認めた高齢頸椎損傷の症例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 渡邊 直美
- ⑦ 急性期からの運動学習アプローチで早期に実用手まで回復した症例
関西医科大学附属病院 崎 明誠
- ⑧ 依存的な患者に対し他職種と情報共有し排泄・更衣が自立となった症例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 秋澤 太朗

B 会場（講義室 6） 19:00-21:15

第1セッション 座長：わかくさ竜間リハビリテーション病院 永井 信洋

- ① 本人の状態に対する理解の低下と受容が困難な家族への関わり～在宅復帰までの段階的な介入～
星ヶ丘医療センター 湯浅 沙絵
- ② 成功体験の積み重ねが麻痺側上肢の使用、自発性向上に繋がった症例
星ヶ丘医療センター 高岡 夏実
- ③ 移動手段を調整し、日常生活活動が維持された緩和ケアの一症例
松下記念病院 中野 智也
- ④ Activity を通したリハビリ意欲の向上に繋がった一例
コープおおさか病院 海老澤 康子

第2セッション 座長：啜生会脳神経外科病院 西尾 康宏

- ⑤ 生活関連動作練習により自己の健康感への意識が向上した症例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 楚田 典子
- ⑥ 重度記憶障害患者に対する代償手段を用いた介入例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 久米 千晶
- ⑦ 精神障害悪化への作業提供の有効性
藤本病院 胡桃 大希

参加を希望される方は、件名を「北河内ブロック：事例検討会」とし、氏名、所属施設、勤務住所（所在市町村名を記載）、連絡先（e-mail、TEL）、OT協会会員番号、『参加のみ・報告のいずれかの希望』を明記してください。参加の可否について後日連絡させていただきます（北河内ブロックの方を優先）。

*申込期間：平成29年4月12日（水）まで

*申し込み・問い合わせ先：

わかくさ竜間リハビリテーション病院 療法課 牟田博行

e-mail：com-reha.tatuma@iris.eonet.ne.jp